

# 平成30年度 東京都学力調査分析 小松川第二中学校〈社会〉

## 1. 結果の概要

カテゴリー 内容(観点)	問題番号	設問項目	都平均 (%)	本校平均 (%)
社会的事象への 関心・意欲・ 態度	2(5)	オセアニア州の学習を踏まえ、意欲的に探求しようとしている。	94.1	92.0
	4(4)	古代までの歴史の学習を踏まえ、意欲的に探求しようとしている。	94.7	98.8
	社会的への関心・意欲・態度 平均		94.7	95.4
社会的な思 考・判断・表現	1(2)	世界の気候の特色気温と降水量を示したグラフを用いて捉えることができる。	82.0	78.5
	1(5)	表を用いて、世界各地の人々の生活について捉えることができる。	62.4	60.1
	2(4)	オーストラリアの貿易の特色について、資料と関連付けて説明することができる。	50.8	46.6
	4(2)	古代までの日本の政治の特色を説明することができる。	47.8	46.6
	5(3)	中世の日本について、東アジア世界との関わりを資料と関連付けて説明することができる。	56.6	44.8
社会的な思考・判断・表現 平均		59.9	55.3	
資料活用 の技能	1(3)	世界の気候の分布図を用いて、気候帯の分布を捉えることができる。	67.6	60.7
	2(2)	緯度と経度を用いて、オセアニア州のオーストラリア大陸の地球上の位置を捉えることができる。	59.8	60.1
	2(3)	オーストラリア州の地域的特色を資料から捉えることができる。	53.6	60.1
	3(1)	気温と降水量を示したグラフを正しく読み取ることができる。	74.8	69.9
	3(2)	日本の気候の特色の理由を正しく捉えることができる。	46.3	42.3
	3(3)	都道府県の地域区分を複数の資料を基に正しく捉えることができる。	53.9	52.1
	4(3)	古代までの日本の文化の特色を、年表と資料とを結び付けて捉えることができる。	56.3	58.3
	5(4)	中世の日本について、東アジア世界との関わりを資料と関連付けて捉えることができる。	48.9	38.7
	資料活用 の技能 平均		57.7	55.3
社会的事象に ついての知識・ 理解	1(1)	世界の気候の特色を正しく理解している。	78.3	71.8
	1(4)	世界の主な宗教の分布について正しく理解している。	70.3	71.2
	2(1)	オセアニア州の位置を海洋との関係で理解している。	84.0	80.4
	3(4)	日本の都道府県庁所在地の名称を正しく理解している。	70.9	68.1
	4(1)	古代までの日本の外交について正しく理解している。	26.5	29.4
	5(1)	中世の日本における政治の変化について正しく理解している。	46.3	49.1
	5(2)	中世の日本の歴史的な事象を正しく理解している。	57.8	62.0
社会的事象についての知識・理解 平均		62.0	61.7	
必要な情報を 正確に取り出す 力	6(1)	日本の製鉄所の分布図から、工業立地の様子を正確に取り出すことができる。	59.2	50.9
	7(1)	1900年代前半の東京の主な百貨店の開店時期を正確に取り出すことができる。	66.6	66.9
	必要な情報を正確に取り出す力 平均		62.9	58.9
比較・関連付 けて読み取る 力	6(2)	東北地方の主な半導体工場の分布について、資料を関連付けてまとめることができる。	21.5	24.5
	7(2)	1900年代前半の東京の主な百貨店の開店した地域の変化をまとめることができる。	64.4	64.4
	比較・関連付けて読み取る力 平均		43.0	44.5
意図や背景、理 由を理解・解釈・ 推論して解決する 力	6(3)	日本の工場立地と輸送機関との関係を推論することができる。	47.7	39.9
	7(3)	人口の変化から主な百貨店の開店した地域の変化の理由を推論することができる。	45.9	44.8
	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力 平均		46.8	42.35

## 2. 結果に対する課題と改善策

### 〈カテゴリー内容(観点)別の結果の課題と改善策〉

#### 1. 調査結果の分析

- (1) 教科の内容・読み解く力の双方で、都平均を下回った。
- (2) 教科の内容については、思考・判断・表現する力が大きく下回った。
- (3) 読み解く力については、取り出す力、解決する力が大きく下回った。
- (4) 地理的分野で生徒の理解が進んでいないことが分かる。
- (5) 特に地理的分野の資料で、図やグラフの数値や記述内容を読み取って、比較したり関連付けたりする力が身につけていない。

#### 2. 分析のまとめ、

- それぞれの単元で、基礎・基本の習得ができていない。  
図やグラフから、社会的事象の特色を読み取る力が身につけていない。

#### 3. 今後の対策

- (1) 1時間の授業の狙いを明確にし、その狙いが達成できたかどうかを授業のまとめとして行う。
- (2) 教科の内容については、定期考査以外に小テストなどを行い、繰り返し定着を図る。
- (3) 図やグラフなど資料を読み取る力については、個人での作業、グループでの意見交換などを通して、生徒一人一人が普段の授業の中で繰り返し行う授業展開を行う。
- (4) 教科内容の習得ができていない生徒や苦手意識を持っている生徒に対する補充的な学習を行う。
- (5) 3学期に、今回の調査問題についての解説を行い、どのように考えれば課題が解決できるか理解を進める。